



先月の山行

- ☆ 2月10日(日) 取立山
- ☆ 27日(日) 越前甲

3月の予定

- ☆ 10日(日) ブナが岳
カネキ運輸6時
- ★ 14日(日) 例会
- ☆ 24日(日) 藤原岳、権現山

CL

4月の予定

- ★ 11日(木) 総会
- ☆ 14日(日) 去年は大仏寺山

CL

- ☆ 28日(日) 去年は鷲走ヶ岳
- ☆ CL

冬季は積雪を考慮して決定します。

遭難対策基金1000円会計までお願いします。

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

を検索して下さい。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

〔山行報告〕

取立山

日時2019、2、10



前回は中止になったので1月13日から4週間ぶりの会山行です。6:00時にカネキ集合で、すぐに出発です、車の中では今日の天気の話です、車から見える山には厚い雲がかかって頂上は見えません、雪が少し降っています。天気予報では午後からは晴れの予報です。

駐車場に7:00時ごろ到着、全員ワカンを付けて出発です、新雪が10センチ～30センチぐらいあって、新雪を歩くのは気持ちいいです。でも、先頭の人は大変ですね～！。初めは宮本会長が先頭、次は畑中さんが先頭です、畑中さんが新雪の急登をぐいぐい登っていきます、でも、後続がついていけません、さすが畑中さん凄い体力です。半分ぐらい登ったところから、岩本さんの指示で先頭の人を次々に交代して登っていきます、私も最後に先頭を歩かせてもらいました。

少しだけ降っていた雪も頂上に着くころにはやんで、日差しも少しありました、頂上は風もあって寒く周りの山も雲がかかっていて、ほとんど見えません、でも、日が差すと周りの空気の中にキラキラ光る物が見えて、それが風で流れてキラキラの氷の粉の川の中にいるみたいで、凄く綺麗でした。頂上付近は樹氷も綺麗だし、頂上手前の稜線には雪庇もだいぶ大きくなっていて綺麗です。

下山は小柏さんが先頭です、やっぱり小柏さん下りは早いですね、最後は小泉さんが先頭で、すぐに駐車場です。駐車場で帰り支度をしていると伴藤さんからコンロ出して～！と言われ、今から駐車場でお雑煮を作るそうで

す。伴藤さん、ご馳走様でした。温かくて美味しかったです。ありがとう！

今日一緒に登ってくれた皆さん、ありがとう御座いました。また、よろしく！。雪のある山は、本当に綺麗ですね。私は雪山大好きです。

勝山の温泉に入って、カネキ運輸に15:00時ごろ到着して解散しました。



個人山行

霊仙山（滋賀県）

日時 2019年2月17日



今日は霊仙山です。17日朝登山指数を確認するとBになっていた。風が強いただけだと思い決行することにした。福井を5時30分に出発。小雪が舞っている。木之本まで来ると伊吹山がよく見えるが霊仙山は雲の中だ。霊仙山の駐車場に着く。すでに数台の車が停まっていた。支度を整えてようとすると、津田さんが登山靴を忘れてきたことに気がついた。多分雪も少ないことだろうから履いてきた靴で登ることになった。出発早々に下山してきた人がいた。雪の状況を聞くと、5合目から雪があるが軽アイゼンで大丈夫とのこと。汗ふき峠まで着く。霊仙山は何と言っても西南尾根に行くのが、一番景色が良いので計画変更して周回することにした。

急な細い登山道を下りていく。川まで下りた。川沿いに進む。途中から道が良くなっている。落合の廃村を過ぎると登山口がある。急坂を登っていくとまた今畑

の廃村が出てくる。こんな急坂の上に村があったとは驚きです。廃村を出て登っていくと尾根に出た。今まで風が無かったのに冷たい風が吹き付ける。寒い！杉林に入ると風はなくなった。頂上方向の山が見えた。ここから積雪になっている。5cm位だろか普通に歩ける。岩が出てきた。日もさしてきた。登山指数がBなったりAになったりしている。

笹峠に着く。まるで庭園のような場所です。でもここを過ぎると西南尾根コースの最大の山場です。とにかく道が無い。広い斜面を上に向かって登るだけの場所です。それも急斜面、砂地で滑って登りづらい。両手を使って登る。どこから登っていいのかわからない。とにかく砂地を避け、岩がある場所を選んで登るしかない。振り返るとスリル満点です。どれくらいの傾斜なのでしょう、かなりの傾斜に見える。ようやく傾斜が収まり積雪の斜面に変わった。今度は岩ばかりの斜面なので登りづらい。ようやく近江展望台に着く。左に頂上、正面に最高点、右は鈴鹿の山並み。ここでアイゼンを付ける。尾根沿いに進む。尾根歩きは夏も冬もいいもんですね。樹氷の木々の間を過ぎると左手に最高点が見えた。白銀の世界です。最高点着くとその先に伊吹山が見えた。伊吹山に陽がさして、頂上光っている。風が強いのので頂上に向かうことにした。少し下って本来なら振り返すのだが、巻いて行くことにした。頂上に着く。更に風が強いのと寒いのと。早々に退散です。経塚山に向かおうとしたが、やめてショートカットすることにした。途中風が無い谷で昼食を取ることにした。手がかじかんでうまく動かない。伴藤さんから甘酒をもらう。体が温まってきた。天気が良くなってきた。青空が広がってきた。下山開始です。ショートカットしたのであつという間に7合目まで来たしまった。ここでアイゼンを外す。ここから泥地獄が始まる。雪が溶けて道が田んぼのようになっている。下りて始めてすぐに伊部さんが滑って転んだ。泥だらけです。それを見て慎重に下りる。靴に泥が付きだんだん重くなってきた。更にゆっくり慎重に下りる。ようやく泥地獄から開放された。天気が良くなり気温も高くなってきた。2月とは思えないほどの天気になりました。

今回は周回にして良かった。大変な思いをしましたが、記憶に残る山行になりました。

「編集後記」

日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp>